

1. 評価対象事務事業

事業名	海水浴場振興事業	シート作成日	平成25年7月19日
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	担当課・係名	産業観光課観光推進係
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業番号	20
		事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	海水浴場が安全で快適に遊泳できるように管理運営を行う				
対象 (誰を・何を)	海水浴場を利用される方				
内容	海水浴場の開設準備として、海浜の整地、エリア区域のブイ設置、監視所・シャワー・放送・トイレ等の施設設置を行う。開設後の海水浴場利用者の安全を確保するため、監視業務を行う。				
根拠法令・条例等	神奈川県海水浴場等に関する条例及び施行規則、大磯町美しいまちづくり条例及び施行規則、大磯海水浴場の管理及び運営に関する要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	13,917	13,418	14,096
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	13,917	13,418	14,096
	職員人数 (概算職員数)	人			0.13
	人件費計 (b)	千円			797
総事業費 (a)+(b)	千円	13,917	13,418	14,893	
事業費内訳	普通旅費：2千円 消耗品費：119千円 燃料費：10千円 食糧費：23千円 光熱水費：385千円 修繕料：100千円 医薬材料費：26千円 通信運搬費：24千円 手数料：800千円 火災保険料：3千円 監視委託料：8,000千円 H 25 年度 ゴミ収集・運搬委託料：494千円 公衆便所等清掃委託料：880千円 遊泳区域表示設備設置・撤去委託料：1,400千円 海水浴場施設借上料：1,830千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 海水浴場来場者数	千人	51	83	86
	②				
活動指標 (活動量)	① 海水浴場開設日数	日	60	57	57
	②				
成果指標 (達成度等)	① 海水浴場来場者数	千人	51	83	86
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 観光協会、茶屋組合などが運営しているところもあるが、町が海水浴場開設者と考える。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 監視業務を専門的なノウハウを持つ業者に委託し、来場者の安全確保を図っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 以前に比べ海水浴客は減少してきているが、海水浴場発祥の地としておおむね成果は得られている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 コスト削減を図っている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 コスト削減を図っている。
	担当課による評価		<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 今後も海水浴場発祥の地として誘客を図っていく。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	安全で誰もが楽しめる海水浴場を目指す。
② 平成26年度に着手する事項	来年度、海水浴場開設から130年目を迎えるため、記念事業として今後の誘客に繋がるような事業を検討。
③ その他（課題、調整事項等）	昨今、クラブなどで音量を上げた海の家などが付近住民にも迷惑をかけている状況が目立つので、パトロールの強化等図っていく。

6. 平成26年度事業への取り組み状況（改善内容等）

海水浴場開設130年目の節目を迎える中、海水浴場開設期間中、ビーチテニスコートを開設する。「広い砂浜」という大磯の特性を活かし、スポーツ性を打ち出した健康的で明るい海水浴場とすることで、より多くの方の来場を目指す。 また、海の家音楽などの音量については、県や海水茶屋組合などと連携し、海を家の運営の自主ルールなどを見直し、使用機器の制限などにより改善を図る。
